

## さがみはら地球温暖化対策協議会 会員紹介

個人 23名  
事業者 34社  
団体 35団体  
合計 92  
(平成27年1月15日現在)  
会員紹介は掲載希望の会員から順次掲載します。



さがぼー通信第2号発行以降の新規会員

- 【個人】 高田秀一 内田誠治
- 【事業者】 津久井郡農業協同組合 東急建設機技術研究所
- 【団体】 NPO法人ナレッジ・リンク

### 特定非営利活動法人アース・エコ



アース・エコは「子どもたちと地球の未来のために」をスローガンに地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。子どもたちや市民の皆さんを対象にした出前授業や環境教室の開催、イベント出展など、相模原市内に限らず県内各地で様々な活動に取り組んでいます。エネルギー消費の少ない社会の実現のために私たちと一緒に活動しませんか?  
<http://www.npo-earth-eco.com/>

### 相模原市自治会連合会



あなたの力を自治会に  
あなたが住みやすく、安心できる生活環境をつくりませんか?自治会活動を通して地域のことを知り、心豊かに安全で安心して暮らせるまちを一緒に作りましょう。あなたの参加をお待ちしています。  
<http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

### 相模原市印刷広告協同組合

印刷業者24社で構成された事業協同組合です。印刷に関しては、長く環境に配慮し業務に臨んでおります。また、相模原市のアダプト制度を利用し、相模川自然の村公園に「花の広場」を作り、年2回の植替え、毎月の手入れを10年間継続しています。市民の皆様楽しんでいただき、少しでも緑化事業に貢献できればと思っております。



[SOIN http://www.soin.or.jp/](http://www.soin.or.jp/)

### アイフォーコム(株)

自前のICT技術を駆使した企業の節電コンサルティング企業です。企業の現場ごとに対応したきめ細かなコンサルティングサービスを提供し、平均で10%以上の電力コスト削減を実現しております。導入実績2,000施設以上の実績とノウハウを基に導入企業様の電力コスト削減のお手伝いを行います。



ワンストップICT企業  
～ものづくりから経営コンサルまで～

<http://www.iforcom.jp/>

橋本に大きなさがぼーくん看板が!



当協議会の会員でもあるアイフォーコム(株)様はCSRの取り組みとして自社ビルに「さがみはら地球温暖化防止協議会」の看板を設置していただきました。

事業者の皆様、地球温暖化防止を呼びかけるさがぼーくんの看板等設置にご協力いただけませんか。関心をお持ちの方は協議会事務局までご一報いただけましたら幸いです。

## さがみはら地球温暖化対策協議会からのご案内

～ホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。～

活動内容や会員の紹介、講座やイベントのご案内等を掲載しています。フェイスブックページもあります。URL <http://www.s-ontaiyou.jp/>



## 会員募集中です!

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して、温暖化対策と一緒に取り組みませんか。協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体で協議会事業に積極的に参加いただける方ならどなたでも入会できます。市外の方も入会可能です。



会費...1口 1,000円 ・個人会員 / 1口以上  
・事業者・団体会員 / 2口以上

入会を希望する方は、お気軽に右協議会事務局にお問い合わせください。



この会報は環境に配慮した紙・インクを使用しています。

# さがぼー通信

第3号

発行日  
平成27年1月

さがみはら地球温暖化対策協議会は、個人・事業者・団体・市が連携・協力しながら、日常生活に起因する温室効果ガスの排出削減などのために必要な対策の協議や活動を実施し、地域の地球温暖化対策を推進していきます。

さがみはら地球温暖化対策協議会

〒252-0236  
相模原市中央区富士見 1-3-41  
相模原市立環境情報センター内  
電話 / ファクス 042-753-9550  
Eメール info@s-ontaiyou.jp  
●<http://www.s-ontaiyou.jp/>

## さがみはら地球温暖化防止フォーラム

～未来へつなぐ地球温暖化対策～

平成26年12月6日(土)、相模大野にあるユニコムプラザさがみはらにて、さがみはら地球温暖化対策協議会と相模原市の共催で「未来へつなぐ地球温暖化対策」をテーマに「さがみはら地球温暖化防止フォーラム」が開催されました。当日は約160名の来場者で会場が一杯となり、市民のみなさんの環境への関心の高さを感じました。

気象キャスター  
天達武史さんの講演

前半の特別講演は、フジテレビ「情報プレゼンターとくダネ!」気象キャスターとして活躍している天達武史さんによる「天気の人気がみた、最近の天気と地球温暖化」と題した講演でした。

まずは「気象キャスターの仕事とは」といった舞台裏の話の伺い、参加者が一緒に「雲をつくる実験」をし、気象について体験しました。また最近、気象災害が局地的に相次いで発生していること、その原因は「地球温暖化」にあることや、近年わずか100年で急激なスピードで温暖化が進んでいて、私たちが温暖化防止に取り組まないと21世紀末までに地球の平均気温が最大4.8度上昇してしまうことなどを教えていただきました。

地球温暖化を防ぐには、原因となる二酸化炭素の削減が必要です。  
①省エネ ②自然エネルギーの利用 ③森林の保全(植物を増やす)など、今すぐ私たちにできることをしていきましょう、とのお話でした。

後半は、「若者たちが取り組む地球温暖化防止活動」として、高校生・大学生が取り組む活動の発表があり、私たちができる身近な活動が地球温暖化防止に繋がることを市民のみなさんに発信しました。

若者たちの  
ディスカッション

- 発表者 ○上鶴間高校  
○学生サークルForestNova☆  
○ecocon2014

メッセージ  
Message

## さがみはらから STOP! 地球温暖化

気候変動による影響で、世界規模で洪水や干ばつが発生し、私たちの暮らしの中でも、記録的な大雨や大雪などの自然災害が多く起こっています。

相模原市では、地球温暖化対策推進条例や地球温暖化対策実行計画のもと温暖化対策を進めており、その中心的な役割を担う組織として、平成25年3月には「さがみはら地球温暖化対策協議会」が発足し、様々な取組を行っています。

「地球規模で考え、足元から行動せよ」という言葉があるように、個人も団体も事業者も行政もみんなが一緒になって身近なところから温暖化対策に取り組むことが重要です。よりよい地球環境を将来の世代へつないでいく自覚を持って、みんなで行動していきましょう!!

メッセージを  
発信する  
増田対策部会長

# バスで行く、省エネ・創エネ施設見学会

電気や熱を創り出す施設や、省エネに取り組む工場の市民向け見学会を、夏と秋に開催しました。

7月30日には小学4年生以上の家族で、東京ガス(株)根岸工場、東京電力(株)浮島太陽光発電所・川崎火力発電所を見学。また、11月26日には市内や近隣の創エネルギー施設であるノジマメガソーラーパーク(太陽光発電)、南清掃工場(廃棄物由来のバイオマス発電、熱利用)、宮ヶ瀬ダム・愛川第1発電所(水力発電)を訪ね、身近にさまざまな方法で電気や熱が作られているところを見学しました。私たちの使うエネルギーや地球温暖化防止について考えていただく機会になったことと思います。



東京電力(株)川崎火力発電所

東京ガス(株)根岸工場

愛川第1発電所

宮ヶ瀬ダム放水

東京電力(株)川崎火力発電所

ノジマメガソーラーパーク

東京ガス(株)根岸工場

愛川第1発電所

# 再生可能エネルギー 固定化価格買取制度 ～制度について思うこと～



環境ジャーナリスト 枝廣淳子

## 再エネ(特に太陽光発電)、急拡大中!

2012年7月に固定価格買取制度が導入されてから、再生可能エネルギー(特に設置に時間がかからず住民合意の必要性などもない太陽光発電)が“ブーム”といわれるほど各地に設定が進んでいます。

かつて「日本ではどうして再エネが増えないのだろう…このままずっと無理なのだろうか…」とため息をついていたのですが、昨今の再生可能エネルギーのめざましい拡大のニュースを見るたびに「制度をつくる政策の有効性と重要性」を痛感します。

けようという会社も出てきているなどの問題もあります。

太陽光発電に偏りすぎた反動で、現在、電力会社5社が自然エネルギー接続の保留をするなどの問題も起こっています。そういう課題や問題のある現状に「だから固定価格買取制度はダメなんだ」という声もありますが、政策や制度自体の有効性と、政策や制度の課題・問題への対処は、分けて考えるべきではないでしょうか。政策や制度自体が有効なのであれば、それは活かしつつ、そこから発生する課題や問題への対処を考えればよいということです。

実際、風力や地熱を促進していくために固定価格の見直しを行いながら進めています(固定価格を柔軟に変えられるように制度設計されています)、「枠取り」問題に対しても、経産省では事業者に対して「早期工事着工か、枠の移譲か」を迫る対応を進めています。

固定価格買取制度は、政策を実施したらこんなに日本中で再エネが増え始めた!という意味で政策や制度の有効性を実感させるものです。だからこそ制度を作る政策がどれほど重要かを痛感します(悪い制度を作ればすぐに悪い展開が起こることでもあります)。そして、制度を運営しながら課題や問題に対処していく(それができるといふ制度設計にしておく)ことがよいという例にもなっていると思います。

問題や課題があるからといって制度自体を否定するのではなく、その制度が生み出している望ましいものを損なわずに、制度をよりよいものにしていくことに力を貸したいと思うのです。

## 制度の問題や課題をどう考えるか

もともと日本には再エネ技術もあったし、再エネを導入したいという気持ちを持つ人もたくさんいました。でもそれだけではなかなか普及しませんでした。そこに固定価格買取制度という制度ができたからこそ、これだけ広がっているのですよね。

もちろん現在の固定価格買取制度がパーフェクトだというわけではなく、普及はうれしいけれど、その分国民や企業の電気代に上乗せされる分も増えますから、その折り合いをどうつけるのか、太陽光発電に偏っている現在の再エネを、風力や地熱など、より低コスト/安定供給型のものも増やしてバランスよく広げていくにはどうしたらよいかなど、いろいろな課題もあります。

地域のエネルギー資源を地域のために役立つ形で使っているだろうかという課題もあります。高い固定価格のうちに買取枠の申請だけして、実際にはまだ発電を始めていないどころか、その枠を転売することで儲

# 森林資源の利活用を考える

## さがみはら地球温暖化対策協議会会員研修

相模原市は津久井地域との合併により、森林が面積の約6割を占めています。地球温暖化防止のためにも、大切な森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくために森林資源を保全・再生し循環・継続的に利用していく必要があります。そのため当協議会では森林の利活用をテーマに下記のとおり会員研修を実施しました。今後の活動につながる大変有意義な研修となりました。

### 講演会 10/2(木)「木質バイオマス利活用の現状と課題」

講師 ㈱森のエネルギー研究所 伊東雄生氏

### 視察研修 10/20(月)

「近隣の木質バイオマス施設見学と津久井地域の林業の現状について」  
山梨県にある「道志の湯」の木質ボイラーおよび貯木場「木の駅」、青根草木館の見学と、NPO法人道志・森づくりネットワークの大野氏、(有)サトウ草木の佐藤氏、津久井郡森林組合の坂本氏による講義

### 学習会 11/6(木)

「地球温暖化防止と森林整備・保全～森から考える地球温暖化対策～」

講師 東京工業大学名誉教授 宍戸和夫氏



10/20 貯木場「木の駅」



10/2 講演会



10/20 道志の湯木質ボイラー

# イベントで温暖化防止を呼びかけました!

- おださがロードフェスタ10/4
- 東林ふるさとまつり10/5
- 城山もみじまつり10/19
- 日産部品センター 10/19
- 潤水フェスタ11/2



城山もみじまつりは素晴らしい秋晴れに恵まれ、50以上のブース出展や吹奏楽演奏、クイズ大会が実施されたこともあり、親子連れを中心に多くの方々が来場され活気あるお祭りとなりました。

私たち地球温暖化対策協議会もブース出展し、「STOP!温暖化ハウス」による省エネの見える化や自転車発電を体験してもらいま

した。自転車を漕ぐことにより発電し、多くの電球を点灯させるためには自転車を一生懸命漕がなければならないことを体験してもらい、電気には多くのエネルギーが必要なこと、一人ひとりが節電などの省エネに取り組むことの大切さを体感してもらいました。多くの方々に地球温暖化防止と省エネルギーの大切さを理解していただけたと思います。

東林ふるさとまつりはあいにくの大雨の中、東林公民館内でのブース出展になりましたが、多くのみなさんに発電体験をしていただくことができました。また、自治会館への太陽光発電普及促進の展示もデビューし、暮らしの中での省エネ、創エネの可能性を伝えました。

おださがロードフェスタや潤水フェスタでは、当協議会の「さがぼーくん」をはじめ市内のゆるキャラが大集合し、一緒にイベントを盛り上げました。「さがぼーくん」ほどのイベントでも家族連れの方々をはじめ市民のみならず大人気。各地域のイベントを通じて「地球温暖化対策協議会のさがぼーくん」を覚えていただき、地球温暖化問題を考えようきっかけにつながれば幸いです。



城山もみじまつりにて



# 地域の拠点 『自治会館』に太陽光発電を! No.2

蓄電池とセットで地域防災力強化

前号でご紹介したように、東林地区の翠ヶ丘自治会は平成25年12月自治会館改築時に相模原市の補助金を活用して太陽光発電システム(定格4.3kW)と蓄電池(容量5.5kWh)を設置しました。さがみはら地球温暖化対策協議会の調査・研究部会では翠ヶ丘自治会にご協力いただき、自治会館の太陽光発電システムの発電量、東京電力から買った量、東京電力に売った量から経済的な試算などを行っています。それらのデータを活用して市内の多くの自治会館が太陽光発電を設置できるよう、お手伝いをしたいと考えています。

自治会館に太陽光発電・蓄電池を設置することには大きな意味があります。環境への貢献はもちろんのこと、防災面での備え、電気代の削減など自治会のみなさんの役に立ちます。自治会館への太陽光発電設置に関心をお持ちの方はお気軽に当協議会にご連絡ください。